宇治拾遺物語 ・児のそら寝・

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段
昔、〔①　　〕に児がいた。僧たちが宵の〔②　　〕に、〔③　　〕を作るのを知った児は、自分も食べたいと思ったが、いやしいと思われたくないので、〔④　　〕をしていた。	〔③　　〕が出来上がって、僧が児を起こしたが、児は待っていたと思われたらいけない、もう一度呼ばれたら起きようと思って〔④　　〕を続けた。ところが、僧たちが起こすのをやめて食べ始めたので、どうしようもなくて、だいぶたってから〔⑤　　〕をしたので、僧たちは大笑いをした。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) おどろく　［　　］

(2) いらふ　［　　］

(3) 念ず　［　　］

重要文法 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 ヤ行とワ行を歴史的仮名遣いを用いてひらがなで書きなさい。

ヤ行 ［　　］

ワ行 ［　　］

2 次の語句の読みを現代仮名遣いを用いてひらがなで書きなさい。

(1) よひ（一六・2）　［　　］

(2) せむ（一六・3）　［　　］

(3) ゐたる（一六・9）　［　　］

(4) ひところゐ（一七・1）　［　　］

3 次の語句の読みを現代仮名遣いを用いてひらがなで書きなさい。

(1) くわかく（過客）　［　　］

(2) ぐわんじつ（元日）　［　　］

(3) やうやう　［　　］

(4) いうげん（幽玄）　［　　］

(5) ええうなし（要無し）　［　　］

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 「心寄せに聞きけり。」（一六・3）とあるが、児は何を期待しているのか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　自分もぼた餅を一緒に作ること。
イ　自分もぼた餅を食べられること。
ウ　自分が寝ている間にぼた餅が食べられてしまうこと。
エ　自分のためにぼた餅を残してくれること。

2 「寝たるよしにて」（一六・5）について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 児が寝たふりをしたのはなぜか。その理由にあたる部分を本文から**二十五字程度**で抜き出しなさい。

(2) 児の心情を具体的に説明したものはどれか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　食い意地がはっていると思われたくない。
イ　子供が夜遅くまで起きているのはよくない。
ウ　食べ物の話をするのは仏の教えに反している。
エ　目上の僧たちが怖くて自分から言い出せない。

3 傍線部の動詞の主語は誰か。それぞれ本文から抜き出しなさい。

(1) 待ちけるに（一六・6）

(2) ひしめき合ひたり。（一六・7）

4 「うれし」（一六・10）とは、児のどのような予想が当たったことに対する喜びか。該当する部分を本文から**十五字以内**で抜き出しなさい。

5 「ただ一度にいらへむも、待ちけるかともぞ思ふ」（一六・11〜一七・1）から読み取れる児の心情はどれか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　ぼた餅を食べたがっているのを知られたくない。
イ　寝込んでしまっていたことを知られたくない。
ウ　呼んでもらうのを待っていたのを知ってほしい。
エ　ぼた餅が出来たのを知らせてほしい。

6 「な起こしたてまつりそ。」（一七・2）を現代語訳しなさい。

7 「あな、わびし」（一七・3）とは、誰のどのような気持ちか説明しなさい。

8 「僧たち、笑ふこと限りなし。」（一七・5）とあるが、僧たちは、児のどのようなことを笑ったのか説明しなさい。